


テントウムシをみつけよう

まだ寒い早春でも、お日様の光がよく当たりぽかぽかとした場所にテントウムシが出てくる様子を観察することができます。

 ... おすすめの観察スポット



こんなところをさがそう

- ・ 日当たりがよい
- ・ 落ち葉がある
- ・ すこし草が生えている



冬

テントウムシは仲間と集まって越冬^{えいとう}します。風が当たらず、温度変化の少ない落ち葉の下や木のうろ、樹皮の下などにいます。



ナミテントウの越冬

春 秋

3月になると落ち葉の上などで交尾^{さうび}をする様子もみられます。



ナナホシテントウの交尾

テントウムシの仲間^{うら}は葉の裏や木の幹などに15~40個ほどの黄色い卵^{たまご}を産みつけます。



テントウムシの仲間の卵

卵から孵^{かえ}った幼虫^{ようちゆう}は、アブラムシを食べます。10日間ほどの間に4回の脱皮^{だっぴ}をしながら大きくなります。



ナミテントウの幼虫

葉の裏などで蛹^{さなぎ}になります。



ナミテントウの蛹

春から秋の暖かい時期^{あたた}は、2~3回繰り返して卵を産みます。